



NPO法人 **ITでマザル、ハタラク、拓き合う。**
札幌チャレンジド

HSK 札チャレ通信

札チャレ通信手話講座㊦ 家(で) ゆっくり 過ごす



家
両手を左右から斜めに立て
指先を合わせる。



ゆっくり
両手の親指と人差し指を伸ばして
指先を向かい合わせ、同時に右に動かす。



過ごす
両手の人差し指と親指を伸ばし、
前に並べ、2回右に回す。

目次

- 02.....新年のご挨拶
- 03.....Sapporo・チャイルド・ライツ2021報告
- 04.....市ボラ養成講座のご案内
- 06.....札チャレ講習のご案内
- 07.....講習カレンダー
- 08.....オンラインセミナーのご案内
- 09.....移行支援グループ紹介
- 10.....コラム「パソコンQ&A」
- 11.....お知らせ
- 12.....札チャレ講習 参加申し込み用紙

昭和48年1月13日第3種郵便物承認 HSK通巻598号Vol.241
 発行：2022年1月10日発行（毎月10日発行）
 編集：〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目1番地北苑ビル2階
 NPO法人 札幌チャレンジド TEL: (011) 769-0843
 発行：HSK北海道障害者団体定期刊行物協会
 定価：30円（年会費に含まれる）



新年のご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。

約2年間に及ぶコロナウィルスの影響は、まだ続いています。これからは、withコロナの社会を新たに創っていく必要があるのだと思います。

札幌チャレンジドでは、3年毎に、中期経営計画を策定しています。現在、2022年～2024年の3ヶ年計画を策定中です。

NPOの使命は、社会課題を解決することです。そして、社会は常に変化しています。社会課題も変化していきます。時代の変化に伴って、札幌チャレンジドも柔軟且つ先駆的に社会課題に向き合っていく必要があります。

中期経営計画の議論は、正に、その時代の変化をどのように感じ、受け止め、何をすべきなのか？をしっかりと議論することから始まります。

札幌チャレンジドのミッションである『ITでマザル、ハタラク、拓き合う社会を創っていく』ために、札幌チャレンジドならではの計画を策定して、実行していきます。

4月には公表しますので、ご期待ください。

今年もみなさまと共に一歩、一歩、着実にミッションを実現していきますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今年一年のみなさまのご健康、ご多幸をお祈りします。

2022年元旦

NPO法人札幌チャレンジド 理事長 加納 尚明

Sapporo・チャイルド・ライツ2021報告

理事長 加納 尚明（かのう なおあき）

「子どもの権利」がしっかりと尊重される社会を創ることが子どもに関わる様々な課題の解決につながるとの思いから、「子どもの権利」のことを広く世の中に伝え、考えるきっかけとする「Sapporo・チャイルド・ライツ2021プロジェクト」を実施しました。

① ブックカバー ACTION

Sapporo・チャイルド・ライツの趣旨にご賛同いただきました18書店にて、「児童虐待防止推進月間」の2021年11月1日～30日の期間中、Sapporo・チャイルド・ライツのブックカバーを6万枚配布しました。



② 路面電車ACTION

11月1日～14日の間、札幌の路面電車の1車両の車内ジャック広報を実施しました。Sapporo・チャイルド・ライツについて、こどもの権利について、主催団体紹介、ブックカバー配布店紹介などのポスターを全面掲示しました。



札幌市障がい者ICTサポートセンター

障がいのある方のための パソコンボランティア（市ボラ）養成講座のご案内

障がいのある方のパソコン技術習得や活用を支援するボランティアを養成する講座を開催します。

1 対象者

- パソコンの基本操作ができ、日常的に利用しており、障がいのある方へのパソコンボランティアに関心がある方。
- 札幌市のパソコンボランティアに登録し、活動する意志がある方。
(※パソコンのメールアドレスをお持ちの方)

2 内容

- (1) 札幌市パソコンボランティア派遣制度について
- (2) 障がいのある方にパソコンを教えるときの心構え、注意点
- (3) 障がいのある方のパソコン操作を助けるWindows機能
- (4) パソコン操作の音声読み上げソフトに関する研修と実習、等

3 講習日程

- ① A日程：令和4年（2022年）2月5日（土）、6日（日）
- ② B日程：令和4年（2022年）2月19日（土）、20日（日）
1日3時間×2日間 計6時間 いずれも午後1時～午後4時を予定
※講習内容はどちらの日程も同じで、一方のみ受講できます。

4 募集定員

各日程 5人（※申込書の内容をもとに選考）

5 会場

札幌市北区北7条西6丁目1番地 北苑ビル2階
NPO法人札幌チャレンジド 講習会場（札幌駅西口より徒歩5分）
※駐車場の用意がございません。恐れ入りますが、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
(<http://s-challenged.jp/>)

6 受講料

無料、テキスト代実費（2,000円）

7 申込方法・締切

次ページの申込書に必要事項をご記入の上、**2022年1月21日(金)<必着>**までに、下記申込先に郵送またはファックス、メール*でお申込みください。
選考後、受講の可否を郵送でご連絡いたします。

*メール：下記のICTサポートセンターサイトでダウンロードできる申込書に記載し、メール添付で申込み。

8 申込・問合せ先

〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目1番地 北苑ビル2階（札幌チャレンジド内）
札幌市障がい者ICTサポートセンター TEL：011-769-0841 FAX：011-769-0842
（電話受付：月曜～金曜<祝日除く>午前10時～午後4時）
<http://www.s-challenged.jp/itsupport/>

※2021年12月29日（水）～2022年1月4日（火）は冬期休業となっております。

● 新型コロナウイルス感染の拡大状況によりオンライン講座となる可能性があります。

障がいのある方のためのパソコンボランティア 養成講座受講申込書

ふりがな		生年月日	性別
氏名			男・女
住所	〒		
電話	※日中連絡の取れる電話番号をご記入願います。 () -		
E-mail (パソコン)			
職業	いずれかの番号を○で囲んでください 1. 自営業 2. 会社員 3. 公務員 4. 主婦 5. 学生 6. 無職 7. その他 ()		
パソコンの 操作歴	●操作歴： _____ 年程度 【内容】(扱ったソフトや習得した技術の経験等を記入してください。)		
応募動機			
その他 特記事項			
希望日程*	<u>希望の日程の番号どれか一つに○印を付けてください</u> 1. どちらの日程も可 2. A日程のみ可 3. B日程のみ可 4. A日程を第一希望 5. B日程を第一希望 *選考のうえ、上記の希望により各日程5名の調整をさせていただきます。		

※裏面には記事が掲載されておりますので、郵送でお申し込みの際はお手数ですが、必要に応じて申込書を複写の上、送付願います。

～札幌チャレ講習のご案内（3月）～

動画編集・音声編集講座

木曜（午前 3回）

受講日・時間	2022年3月24日～4月7日 午前クラス（10時～12時半）				
受講料	3,900円	テキスト代	700円	チャレ	300チャレ（1,500円相当）まで使用可。
対象者	マウス操作・文字入力ができる方。				
締切	3月17日(木曜)	講師	前田 和範		
詳細	<p>Windows 10 に標準で搭載されている動画編集ソフトを使って、トリミング（余分な部分をカット）、分割（つなぎ合わせ）、テキスト挿入（テロップ）、効果音や装飾の挿入などを学んでいきます。</p> <p>音声編集はフリーソフトを使って 音声のカット/統合などを学んでいきます。</p> <p>他にも、いくつか有料版の無料体験ソフトも合わせて紹介します。</p> <p>※持参するもの</p> <p>①USBメモリー（持っている方）</p> <p>②編集したい動画や音声データ（持っている方）</p> <p>※定員は4名。この講習は受講者3名以上で開催されます。</p>				

【会場】NPO法人札幌チャレンジド 講習室

札幌市北区北7条西6丁目1番地 北苑ビル2階（tel:011-769-0843）

受講希望の方は12ページの「札幌チャレ講習 参加申し込み用紙」に記入し、FAXまたは郵送をお願いいたします。また、お電話でもお申し込みを受け付けています。事務局（011-769-0843）までご連絡をお願いいたします。

- 今年度（2022年4月～2023年3月）初めての受講の方は、年会費1,000円をお納めください。
- 講習料金は全回数のセット料金です。（欠席等分の払い戻しはいたしません）
- 開催中止の場合のみ、受講希望の方、ボランティア希望の方へご連絡致します。

※入室の際はマスクの着用と手のアルコール消毒と体温測定をお願いします。

2022 (令和4年) /January (1月)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1 <u>元日</u>
2	3 <u>冬期休業</u>	4 <u>冬期休業</u>	5 <u>仕事始め</u> ☾午前 ICT 講習 ①	6 ☾午前 ICT 講習 ①	7 金午前 ICT講習 ① <u>通信発送日</u>	8
9	10 <u>成人の日</u>	11	12 ☾午前 ICT 講習 ②	13 ☾午前 ICT 講習 ②	14 金午前 ICT 講習 ②	15
16	17	18	19 ☾午前 ICT 講習 ③	20 ☾午前 ICT 講習 ③	21 金午前 ICT 講習 ③	22
23	24	25	26 ☾午前 ICT 講習 ④	27 ☾午前 ICT 講習 ④	28 金午前 ICT 講習 ④	29
30	31					

2022 (令和4年) /February (2月)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1 ☾午前 ICT 講習 ①	2	3 ☾午前 ICT 講習 ①	4	5
6	7 ☾午前 ICT 講習 ①	8 ☾午前 ICT 講習 ②	9	10 ☾午前 ICT 講習 ③	11 <u>建国記念の日</u>	12
13	14 ☾午前 ICT 講習 ②	15 ☾午前 ICT 講習 ③	16	17 ☾午前 ICT 講習 ③	18	19
20	21 ☾午前 ICT 講習 ③	22 ☾午前 ICT 講習 ④	23 <u>天皇誕生日</u>	24 ☾午前 ICT 講習 ④	25 <u>通信発送日</u>	26
27	28 ☾午前 ICT 講習 ④					

【オンラインセミナー】のご案内

障がいのある方の全国テレワーク推進ネットワーク（全障テレネット）

全障テレネット主催
独立行政法人 福祉医療機構（WAM） 助成

**「障害 × テレワーク」
オンラインセミナー**
(全3回)

**参加費
無料**

昨今、障害の有無に関わらず、テレワークは生産性向上の切り札の一つとなりました。大切なのは、誰にとっても効率アップか。その中心は働き手であるか。通信環境や支援機器が高度化し、これまで以上に障害の重い方の労働や遠隔雇用などが可能になった今だからこそ、全障テレネットは、この潮流を皆さんと共有しつつ、「人を大事にした」テレワークを考えたいと思います。

第2回：2022年1月28日（金）13:30～15:00

第3回：2022年2月25日13:30～ 重度身体障害の方を中心に

基調講演



■ テレワーク&在宅就業支援の展望～東北地方からの発信

右専県立大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 山岡 由美氏

事例紹介

いわてパノラマ福祉館におけるテレワーク支援（仮）

特定非営利活動法人 いわてパノラマ福祉館 理事長 高畑 美保子氏

官民連携事業による障がい者のテレワーク推進について（仮）

特定非営利活動法人 札幌チャレンジド 理事長 加納 尚明氏

- 対象** テレワーク実践中、あるいは目指している障がいのある方、又は支援者等
- 会場** オンライン開催（zoom）
- お申込み** 専用フォームよりお申込みください
<https://forms.gle/uWx41FEFnita5GMn6>
- お問合せ** TEL (011) 769-0843（平日 10:00～17:00、担当：佐藤）
MAIL zentele@s-challenged.net



全障テレネット「障がいのある方の全国テレワーク推進ネットワーク」は、重い障害や疾病のある人の多様な働き方を模索し、在宅就労の支援および就職先を各地で実施してきた組織の集まりです。

全障テレネット事務局（NPO法人札幌チャレンジド） 〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西6-1 北苑ビル2階

「2021年を振り返って&2022年の抱負」

移行支援グループ スタッフ

中川 かおり（なかがわ かおり）

新年あけましておめでとうございます。

2021年も新型コロナウイルスの影響は続きましたが、夏以降はメンバー（利用者）やスタッフのワクチン接種が進みました。秋以降は感染状況も落ち着いてきたため、通所日を増やしたり通所人数の制限を解除したりすることもできました（現在は週4日通所、週1日在宅としています）。

メンバーの皆さんが就活に取り組む姿や教室内で雑談されている様子を見ていると、何気ない日常の大切さを改めて感じさせられます。2022年は穏やかな一年になることを祈るばかりです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

それでは移行支援グループのスタッフより、一言ずつご挨拶させていただきます。



大山珠美

明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、札幌チャレンジに関わる皆さんの安全な場所を確保することに努めてまいりました。就労移行支援では、今年もまだコロナ禍での就職活動が続きます。そのような中でも、引き続き利用して下さる方々が安心して通所し、就職に向かえる仕組みを考えていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

中川かおり

改めまして、あけましておめでとうございます。2022年はこれまでの自身の支援のあり方などを振り返り、将来を見据えて今なにをするべきか考える一年にしたいと思っています。とはいえ、まずは健康第一です。

金澤美希

新年あけましておめでとうございます。2022年はより成長できるように、様々な経験を通して自分自身を高めたいと思います。メンバーの力になれるように精一杯サポートさせていただきますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2022年もどうぞよろしくお願いいたします。



コラム「パソコン Q&A」(参照「パソコンQ & A ブログ・ポポックルの部屋」 <http://pasoo9.blog95.fc2.com/>)

Q. Windows 11 へのアップグレードは、どのタイミングで移行したらいいですか。また 10 と 11 の違いは何ですか。

A. まずはじめにお使いのパソコンが Windows 11 に対応しているかを「PC 正常性チェックアプリ」を使って確認してください。

チェック方法は、<https://pop212.net/2win/7check/check.html> のサイトをご覧ください。また、チェックをして要件を満たしたパソコンで、お使いのソフトが Windows 11 に対応していない可能性もあります。移行する前に対応しているかをメーカーのサイトで確認しましょう。

※移行する前に万が一に備えて、すべてのデータをバックアップしておきましょう。

Windows 11 へアップグレード後「設定」から Windows 10 に戻すことができます。

但し、Windows10 に戻せる期間は、アップグレード後から「10日間だけ」なので、要注意です。

10日を過ぎてしまうと、Windows 10 に戻すには再インストールが必要になります。

因みに Windows 10 は、2025年10月14日までサポートされます。

● Windows11 にいつ、どのタイミングで移行すべきか

上記の「PC正常性チェックアプリ」のチェックが終わり、一定のリスクを踏まえた上で、10 と 11 の違いを考慮しながら、仕事上の関係が必要というときは今でも構いません。

または2022年の春までに移行するのもいいでしょう。

● Windows 10 と Windows 11 の大まかな違い

1. スタートメニューが変わった

これまで左端だったスタートメニューの位置が中央に移動しています。アイコンが増えていくと、スタートメニューの位置も少しずつ左に動いていきます。



2. ウィジェットが新しくなった

ウィジェットが新しくなり、スタートメニューから簡単に開けるようになりました。細かくカスタマイズできるので自分の必要とするデータをすばやくチェックできます。

3. 仮想デスクトップが使いやすくなった

Windows 10 にもありましたが、複数のデスクトップにアプリのウィンドウを用途ごとに並べて切り替えができ、使い勝手がより便利になりました。

4. Teamsが組み込まれた

「チャットアプリ」の Teams 機能が組み込まれました。

タスクバーにピン留めされた「チャット」から、Teams の機能を利用して Web 会議もすぐにスタートできます。

5. Microsoft Storeが新しくなった

Microsoft Store が新しくなりました。ストアアプリの設計が変わり、メニューなどが変更されて使いやすくなっています。今後は、Windows 11 で一部の Android アプリが使えるようになります。

6. スナップが変わった

開いているアプリのウィンドウをきれいに並べる「スナップ」機能が新しくなりました。

ウィンドウを6つのスタイルで規定の大きさに並べることができます。特に画面の狭いノートパソコンではとても役立ちます。

7. Edgeが標準化 (Internet Explorerが使えなくなった)

Internet Explorer が使えなくなり、標準で使えるブラウザが Edge になりました。新機能が充実しました。

8. ディスプレイ環境の改善

ディスプレイの設定を細かく制御することが可能になりました。

9. その他

そのほかに細かな色が刷新されました。



ボランティア募集中

札幌チャレンジドでは、様々な活動を支えてくださるボランティアさんを募集しています。パソコン講習会での手話通訳、要約筆記をはじめ、札チャレ通信の印刷・発送のお手伝いを頂ける方を募集しています。

お手伝いいただける方は、事務局までご連絡ください。
ボランティア登録をさせていただき、お願いしたい時に随時連絡をさせていただきます。

詳しくは、ホームページの「ボランティアがしたい」のページをご覧ください。
(ホームページアドレス : http://s-challenged.jp/?page_id=213)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間ボランティアによる活動を停止しておりますが、電話、メールによる問い合わせ・相談には対応しておりますので事務局までご連絡ください。

電話 : 011-769-0843 メール : challenged@s-challenged.jp

会費・寄付の納め方

1. 郵便振替

郵便局においてある振替用紙でお納めいただく

(1,000円の場合は窓口手数料203円、ATM手数料152円)

<振込先> 口座番号 02750-5-1346

「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド」

2. 銀行振り込み

(北洋銀行から1,000円を振り込む場合、手数料110円)

<振込先> 北洋銀行 札幌西支店 普通 3966083

「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド 理事長 加納尚明」

3. 現金書留で送っていただく

4. 札幌チャレンジドの事務所にお持ちいただく

5. 訪問講習を受けている方は、訪問講師にお預けいただく



札幌チャレンジ行き

FAX番号:011-769-0842

※以前に申し込んでいる方はお名前と電話番号及び受講希望講座だけをお書き下さい。

札チャレ講習 参加申し込み用紙

(ふりがな)	電話番号・ファックス
お名前	
〒	
住所	
E-mailアドレス	
◆参加希望曜日にチェックをいれてください。 動画編集・音声編集講座……………□3/24～4/7 (木曜日) 午前10時～12時30分 ※「受講」あるいは「ボランティア」に○印をつけて下さい。 ●受講 ■ボランティア	
◆参加の方はお記入下さい	
* 車椅子は ・使用している ・していない	
* パソコン使用歴 ・およそ 年 (またはおよそ 月)	
* パソコン講習受講中に、どのような補佐が必要ですか？	
* さしつかえなければ、どのような障がいをお書き下さい。	

HSK 札幌チャレンジ通信

昭和48年1月13日第3種郵便物承認

発行：2022年1月10日 (毎月10日発行) HSK通巻598号Vol.241

「札チャレ通信」

次号発送予定日

2月25日 (金)

